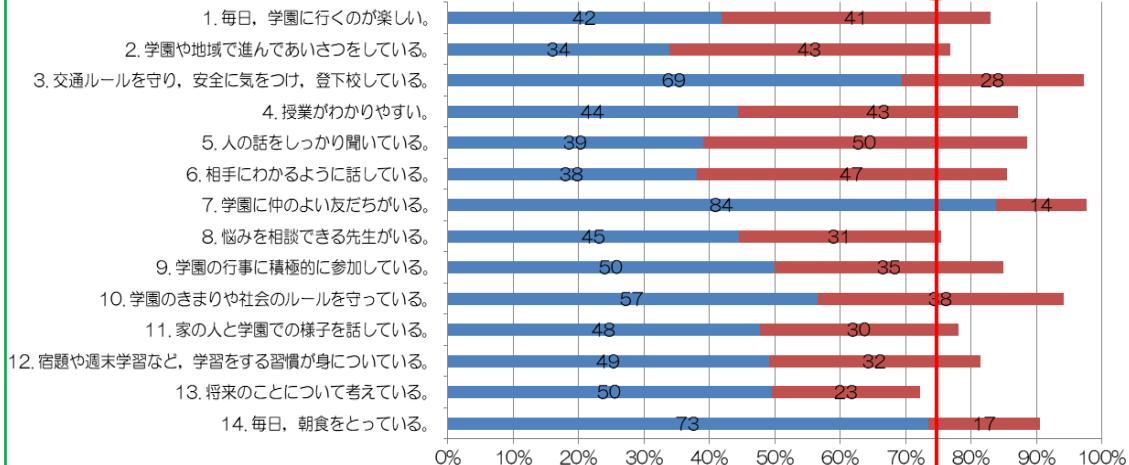


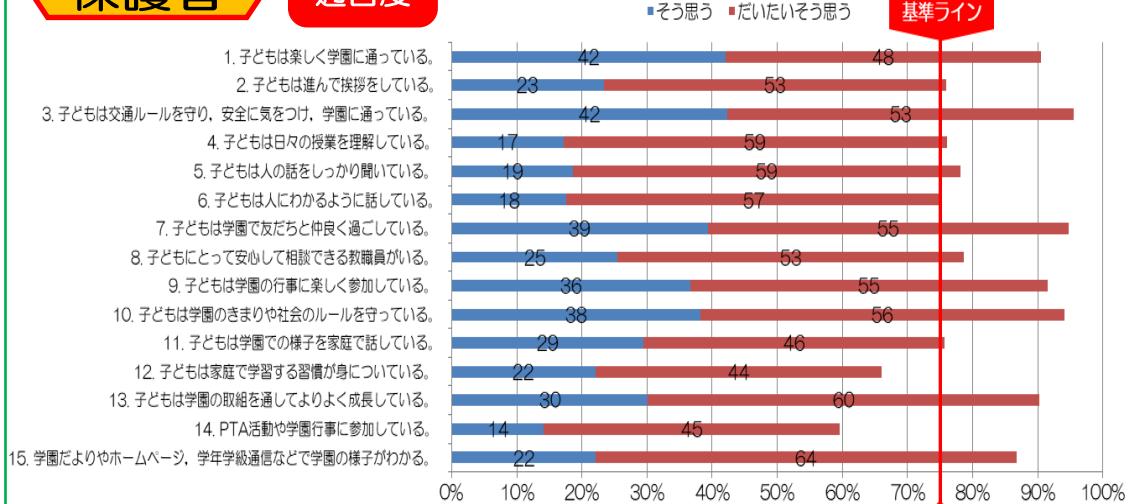
後期学園評価アンケート結果

令和3年
1月実施

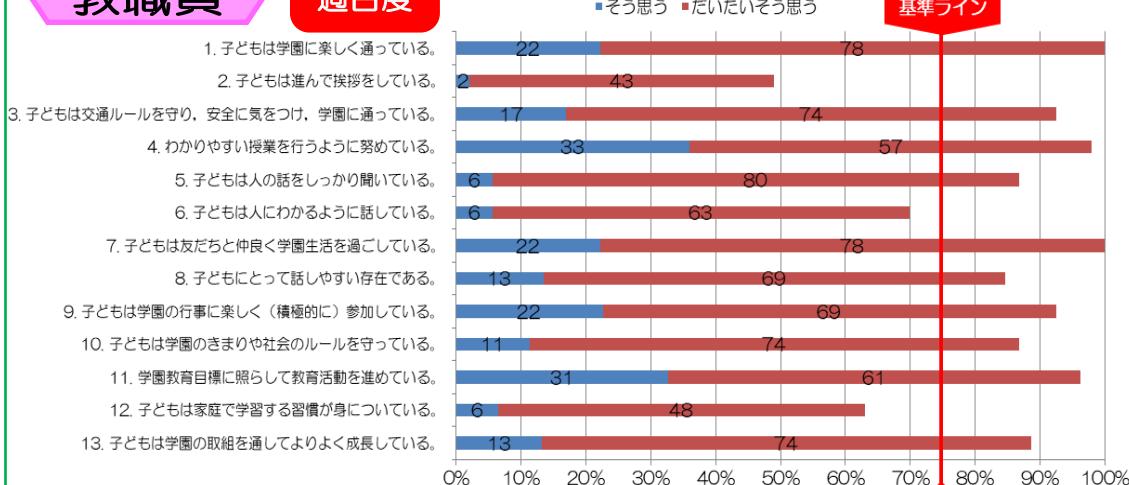
学園生 適合度



保護者 適合度



教職員 適合度



《結果の見方について》

- ・学園生・保護者・教職員の適合度について、アンケートを実施しました。
- ・肯定的な回答のみ（横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順）をグラフ化し、75%を判断の基準としています。

《結果をもとにした考察》

- ・「交通ルールを守り、安全に気をつけ、登下校している」の回答は、学園生全体は97%、各ステージでも95%を超え、高い値を示しております。安全支援員さんをはじめ、地域の方の見守りのおかげだと感じております。
- ・これまで課題のあった「自分からすすんであいさつをしている」については、学園生全体、各ステージとも75%の基準ラインを達成しました。また、「子どもはすすんであいさつをしている」について、保護者の回答が基準ラインを超えて、学園生の変容が保護者の方にも分かる形で表れています。しかし、教職員の回答、すなわち我々の取組に対する自己採点は依然として厳しく、我々教職員の求める姿まではまだまだ至っておらず、今後も引き続き、学園生が自ら気持ちの良いあいさつが進んでできるよう取組を進めていく必要があります。
- ・「将来のことについて考えている。」については、基準ラインを下回り、引き続き学園生一人一人の自己肯定感を高める取組をすすめていく必要があります。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。今回提出いただいたアンケート用紙は、590枚でした。自由記述欄にお書きいただいた内容から、保護者の方々のおもいをうかがうことができました。校内でしっかりと内容を共有し、今後の取組にいかしていくたいと思います。学園運営協議会理事の皆様からは、先行き不透明な社会だからこそ、学校で学ぶ意義を再確認し、9年間同じ環境で今後を見通した取組を進めていくことが大切であるとご示唆いただきました。また、学園生一人一人の様子をしっかりと把握したうえで、心身のケアをしていくことも必要であるとご意見いただきました。今後も家庭と地域、学園が連携・協働しながら、子どもをよりよく育んでいきたいと考えています。今後も引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。